十月廿六日夕刊

常磐毎日新聞

日刊

定價 一部金弐錢 一ヶ月金五拾錢 郵税五厘
廣告料 五号一字詰一行金五拾錢
日曜祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人 川崎文治
福島縣石城郡平町長橋町三五
發行所 常磐毎日新聞社 電話六三〇番
印刷所 常磐毎日印刷株式會社

出家遁世

眞繼雲山

【二】

勢ひ斯くの如くであるゆゑ、名利に縁薄き平民共、貧乏人共は、容易くは名門高德?を拜むことすらも出來ぬ、十三宗五十八派にはそれ〴〵の管長様あるも、御親教と稱して大名のやうな行列に、田舍者の度膽を拔くが關の山である。

管長様も出家であるが、出家とは家を出づると書き字義として金殿玉樓にゐるを許さぬ、如に生くべきやといふに、四依生活とて一樹下名上を家となし二、糞掃除衣とて塵溜のボロ布を綴つて衣となし三、托鉢により戸毎に殘飯を乞ふを本則とする（今一つは腐爛劑とて醫に就かず別に己れの病ひを治すべき工夫あり）時世うつりたるゆゑ三千前の行法を、そのまゝ現代に强ふのではないが、道を求むる民衆に對し、心もちだけでも四依生活を念として欲しいものである。

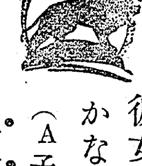
そこへゆくと釋尊は、自ら嚴刻に四依生活を實行せられた、正覺を成じて後、父王の招請により、故國迦毘羅城へ還られた時も、戸毎に行乞しつゝ王城に近づかれた。父王淨飯は、王門を辱かしむるものとして一たびは憤怒した。しかし釋尊は、過去七佛の行法を踏むとして、夜は王宮に眠らず、去つて城外の尼拘留陀樣に入られた程であつた。それでこそ偉大な教へが布き得られたのである。私たちも若し二千五百年前に印度に生れてゐたなら、親しく托鉢の釋尊に面接し、供養を捧げ、教へを受けることが出來たであらう、それは大いなる感激を伴ふたに相違ない、その感激によつてこそ大法は傳承さるゝのである。

大臣が街頭に出でゝ勤險節約を說くは可なり、然れども御當人は金殿玉樓に高枕安臥し、美衣美食に飽き巨萬の俸祿を人民の租税から召し上げつゝ、生活苦のドン底にあつて、衣食と税金にすら苦しむ民衆に說法したればとて、誰かうべなはんや、上下ひとしく四依生活の心をもちて産業に精進せば、農村疲弊、商工萎縮の經濟國難は即時に救はるゝであらう。

—［完］—

ノート

蛸や烏賊のやうなものを煮るときには、最初に材料を糠でくるんで、大根で叩けば直きに柔らかくなり、又茹でる場合に、湯の中に青竹を切つて入れると、奇妙に早く柔かくなります。



彼女の清らかな瞳よ

（A子の素描）

三村哲郎

(2)

彼女の清らかな瞳よ——その瞳に見出す言ひ知れぬ情熱の交流——變化したアトモスフィア——白い肌一面を流れる赤い血液——清らかな瞳よ——彼女にも戀愛が生れるだらう。だが今の彼の女にはまた、なんて言ふやゝこしい氣分を見出す事の出來ぬのは事實だ。

——純情な處女——
——お嬢さん的感傷——

少なくもそうしか思いぬ、だが、彼女の瞳にそんな氣分の見出せぬのが何んとなく、不各理の様なむしろ、矛盾とか思いない氣もする——矢つ張りお嬢さん的感傷がそうさせるんだ——

彼女には珍らしい事がまだある、それは女學校を終へるとからまだ一回も映畫館に入つた事のない事である。

それで居て、映畫の話もする、婦人雑誌に現れる紙上映畫も、グラフも片つ端しから批評してゐて、それも一度も映畫を見た事のない彼女、面白ろい現象の持主である。

彼女はビルディングの壁の様に、笑ふ事の少ない變化のない、いとも朗かな彼女——

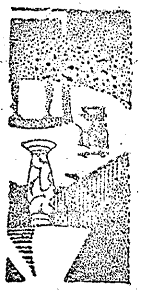
復雜した、陰陽二重性格者、それで居て、御星様の様に安らかな情い瞳の彼女——なんです。

（一九三二十二）

＝明日の献立＝

【朝】もろこしだんご、さつま芋
【晝】八ッ頭、たこ、旨煮
【晩】ぜんまい、油揚げ白あへ

常磐歌壇



郡司利雄

破屋の厨邊のほとりさまよへる煙なつかすみ朝風なぎつ

うき風を渡る神樂のほのかなるどぶのにほひの路ぢい起りぬ

食卓に二三の蠅のあらはれて汁すゝるなり暑さうすらぎ

わがはたに觸るゝ風の音となりて大きなる蚊はあらはれにけり

隣りにて水打つ音の窓邊より空明るみて暮るゝ一日は

質物一般
各種債券類
三井質店
平町四丁目川岸
電話六〇六番

御料理
鹽 コーン
豚 ポーク
田町 三二三屋
電話三二三番

お醤油は……ヤマフル
醤油 味噌
たひら 正宗
鰹節 食料品
鹽屋
山崎合名會社
福島縣平町【電話營業部一〇醸造工場三七】
明治生命磐城代理店
山崎與三郎

醫院開業
私儀二十三日より左記の場所に於て耳鼻咽喉の診療に從事致し居り候間御眷顧之程奉願上候也
平町字中田町七〇番地【電話六九一】
耳鼻咽喉科專門
山内醫院
醫學士 山内亨吉

磐城名産
新鮮鰹節賣出し
◇配達敏速◇
魚問屋
最優最大日本生命平代理店
志賀盛榮
平四丁目 電二一三三番

吉田眼科病院
平紺屋町、電話六八番

新川の櫻樹を惜み
▽—けふ保存會から
▽—移植費五百圓申請

既報平町の匡救事業として施行される新川改修工事に依つて平町の春を飾つた兩岸の櫻樹は當然伐採される運命にあるので日露凱旋記念櫻樹保存會では是れを移植せんとするも其費用の捻出に窮し本日町役場に會長酒井國三郎氏外三名が左記の如き陳情書を提出した

今回縣費救濟事業として新川改修工事起工相成候由就ては昭和五六年度繼續事業として該川南側提防に在する日露戰役凱旋記念櫻樹保存に關し曩に本縣知事並に貴職に對し陳情仕候次第も之有御指圖に從ひ我が保存會に於いて移植を遂行致し來り候然るに本年度に於ける該工事は其距離廣汎に亘り多數の櫻樹を移植する事は多大の費用を要し我が保存會としては到底其負擔に堪難く候間現下の不況非常時に際し補助金御下附の御願は寔に心苦しく存候得共万一之を伐採するの如き事ありては將來我平町の榮華に關する事尠からずと愚考仕候に付何卒特別の御詮議を以て右移植費の內

町費より　金五百圓也

御下附之儀御許容相成度此段奉悃願候也

手藝品バザー
藤田校に開催
出品點數二千餘點

平町藤田女學校にては來る二十九、三十、三十一の三日間製作品展覽會と毛糸編物織物各手藝品のバザーを開催するが出品点數は二千餘点にて此の外生花及び盛花等を陳列し來場者の眼を慰むると

町長時代の 思ひ出
——（その四）——
伏見衛彦氏談

私は大正十四年の二月初めて町長に就任したのであつたが、其年の四月、伊藤一君等に依つて平町に産業博覽會が開催された、香坂知事が折好く來平されたので博覽會場視察の爲め自分は一行の案內役を承つた。

▽—△

其日丁度所澤飛行隊より平町の上空に飛行機が來訪すると云ふので博覽會見物がてら是れを見る人々が犇めき合つて公會堂敷地附近は全く人の山を築き、自動車の通行所か、身動きも出來ぬ大雜踏で空前の大殷賑を來した。

▽—△

自分は就任早々、[illegible]の平町の油の乘りきつた樣を見て喜び禁ぜざるものあつたが更らに此の日は、谷川瀨の射擊場に於て縣下の獵友大會が催されたので知事や警察部長の一行と其處へ自動車を走らせた。

▽—△

其所も縣下各地から押し寄せた獵友會員等に依つて非常な盛況であつた、順序は進んで各方部別の射擊戰が開始された、そして結局郡山對平の決勝戰となつた平町の選手は鎌田の松永君郡山は名前は忘れたが斯道の名手で頗る冴えた腕を持つて居た人である。

▽—△

火華を散らす大接戰を演じ、一上一下、其の腕前は伯仲であつて勝敗は容易に逆賭し難く眞に息詰る思ひがあつた、自分は此の競射を見て、是れはとりもなほさず縣下に於ける平町の競爭都市郡山との大戰ひである、此の一戰に平側勝つか敗れるか、自分が町長に就任早々此事あるは偶然也と云ひながら、平町の將來をトするに面白き見ものであると、固唾をのんで戰ひの成行きを見守つた。

▽—△

遂に此時平町側は勝つたのである、自分は思はず萬歲を叫んだが、今後此の意氣を以つて大敵郡山を向ふに廻して大いに戰はざるべからずと、非常な勇猛心が胸に滿ち溢れた事を今でもよく記憶して居る。

◇……◇

市川檢事 卅日出發

既報山形地方裁判所檢事に榮轉された平區裁判所檢事市川李熊氏は來る三十日平發午前八時五十分磐越東線にて出發赴任すると

非常時協議
日割變更さる

既報石城郡聯合青年團に於ては國家非常時の自力更生に關する協議會を去る十六日の植田小學校より開始する筈であつたが今回左記日割に變更された

（十一月廿五日）勿來校（廿六日）植田校（廿七日）湯本校及び小名濱校（廿八日）平第三校（廿九日）四倉校

出納檢査
臨時に執行

平町役場では來る廿九日午前十時より會議室に於いて臨時出納檢査を行ふ事となつたので本日佐々木、野崎、萩原、坂本氏等四檢査員に通牒を發した

內郷村長 病氣退職

石城郡內郷村長野木龜之助氏は病氣其職に堪へずとの理由で去る廿二日辭表を提出したので同村では近く後任村長選擧の村會を開くと

平商弓道 大會開催

平商業學校にては來る十一月二日午前九時より弓道大會を開催し競射、金的、揚的等があると

商工研究會
明晚開かる
會場は平商校で

既報平商業學校商工研究會は明晚常磐銀行平支店樓上に於て開く筈の處都合に依り會場を同校講堂に變更し午後七時より開くと

成績展 入選書

昨報平第一小學校にては昨日午後二時より本縣女子師範學校主催縣下小學校成績品展覽會の出品書を審査したが各學年の入選兒童は左の如くである

（一年）佐藤善一　根本幸三郎　柴田秀雄（二年）酒井健吉　田敬治　鈴木滿男（三年）阿部武司　山崎常三郎　龜山正邦（四年）伊藤康夫　杉田要司　鈴木將夫（五年）小坂隆通　藤田榮一　佐川浩（六年）會田長太郎　酒井英安　名尾卓朗（高一）愛澤麗山　瀨戶利夫　和氣泰一（高二）新井健夫　猪狩五郎　齊藤武夫

呼物の……
リレー競技

既報昨日午前八時より草野小學校々庭に於て開催された第四區小學校兒童陸上競技大會の呼物たるリレーの戰績は左の如くであつた

▼四百リレー（尋五女）1高久　2神谷　3豐間（尋五男）1高久　2草野　3夏井（尋六女）1豐間　2大浦　3神谷（高一女）1豐間　2神谷　3大浦（高二女）1大浦　2豐間　3夏井　▼八百米リレー（尋六男）1豐間　2草野　3四倉（高一男）1草野　2神谷　3豐間（高二男）1豐間　2草野　3大野

濱三郡教員の
軟式野球

既報雨天の爲め延期された濱三郡小學校教員對抗軟式野球大會は來る三十日午前十時より平第一、第三、平商各グランドに於て開催されるが申込チームは平一、同二、四倉、久之濱、好間、內郷、泉、勿來、入遠野上遠野合同、湯本の十チームにて組合せは當日抽籤に依つて決定すべく若し當日決勝戰出來ない場合は來月三日に行ふと

永戶村長決定

石城郡永戶箕輪組合村では豫てより村長欠員の處此程村會を開いた結果助役萩野倉太氏が後任村長として就任した

好間生柿出荷

石城郡好間村果樹組合では來る廿八日午後一時より組合長方に於いて協議會を開き生柿の共同出荷に就いて打合せる由

平町人事

回出生

△田町一八　柏原辨一郎氏長女愛

回婚姻

△長橋町一八　鈴木儀十氏（五〇）石城郡鹿島村字瀨澤二三長瀨テツ（三二）

回死亡

△田町三〇　大河原福松（六四）

自殺未遂の不運な男に木村醫師同情
無料で其の治療を引受く

石城郡神谷村字鎌田居住日雇業小山熊藏(二三)は去る廿四日午後二時頃

自宅に 於いて剃刀を以つて自殺を計つたのを家人に發見され生命は取止めたが同人は妻子五名を抱へて七月から仕事がなく生活に窮して居た處へ九月五日夜轉倒して骨膜炎を起し治療も出來ず

自殺を 計つたもので あるがこの窮狀に同情した平町六丁目の木村外科醫が無料治療を引受け昨廿五日手術を行つたと

古河男が百圓寄附
好間小學校へ

既報石城郡好間村古河炭礦視察の爲め來郡された同社取締役頭取古河虎之助男爵は廿三日同村第一小學校へ基本金に金百圓を寄附した

平鐵道慰安會 平驛並に保線區では來月一日より四日間聚樂館に於いて千餘名の從業員家族慰安會を催し喜劇界の立物曾我廼家一座の演劇があると

平町に開く樂壇の花三つ
▽……來る三十一日
▽……綜合演奏大會

秋の平町音樂界を賑すべく東都に於ける樂壇の新進花形メッオソプラノ松原操孃セロ森屋比佐雄氏、ピアノ山田千代子孃の三氏が來平され

卅一日午前十時から平第二小學校講堂で藤田、平陽の生徒に同日午後一時から磐城高等女學校生徒の爲めに同校講堂にて演奏し

更らに同日午後六時より一般の爲めに平舘に於て「映畫と音樂の夕べ」を催す事になつて居る

▽松原孃は傳統を誇る東京音樂學校聲樂部の秀才卒業後都下六音樂學校新人競演大會に母校を代表して帝都のファンを狂喜せしめた人

▽セロの森屋氏は武藏野音樂學校セロ科首席賞を獲得してデビューされた立派なセリスト

▽ピアノ山田千代子孃は東京音樂學校器樂部に入りレオシロタ氏に師事して今春學窓を出られた若い未來ある天才的ピアニストである

大松茸に……ビックリ仰天
祟られては大變と恭々しく神棚へ

石城郡川前村大字下桶賣藁谷庄松君は昨日江田信號所附近の松林に茸狩りに行きトテツもない大きな松茸を採つたので大評判だが傘の直經が八寸、傘の長さ八寸抽の太さ六寸で目方は百八十匁食べて祟りがあつてはと神棚へ供へたと

行金横領懲役三年
けふ言渡さる

既報平町字字匠町十九番地元磐城銀行員齊藤廣吉(三二)が大正十一年より昭和四年三月迄預金係として勤務中自已取扱に係る預金中より四萬數千圓を横領消費した業務上横領罪の判決言渡し公判は本日午前十時より平支部公判廷に於て中島裁判所長係り關口、竹内兩判事陪席市川檢事及び澤田書記立會の下に開廷されたが裁判長より檢事の求刑通り懲役三年を言渡された

泥醉漢の落した財布を拾て逃走
他に自轉車も盜む

郡山市北町生れ當時住所不定志賀新平(三二)は本月上旬石城郡神谷村字岸自轉車業鈴木德次方に居會した平町六丁目新妻浩が泥醉して六圓餘入り財布を店先に遺失したのを拾つて逃走した外自轉車竊取二三件を働き平署に檢擧された

体操講習開催 石城郡第一區菊田方部小學校の体操講習會は來る廿八日午前八時より錦村小學校に於いて催されると

四倉消防秋期檢閱
來月五日に華しく擧行

石城郡四倉町消防組の秋期檢閲は來月五日午前八時よ

亡夫遺言寄附

平町新田町藝妓屋橋家事大河原福松(六四)氏は昨日病歿遺言に依つて妻女ルイさんが本日町役場に出頭金百圓を左の如く寄附した

五十圓小學校基本金　二十圓田町青年團　三十圓平消防組

明日のラヂオ

廿七日

仙台放送局

天氣豫報

今晩も明日も東北の風曇りがち小雨模樣

今晩の部

▼後六、〇〇 子供の時間お話と管絃樂「展覽會の繪」お話と指揮山田耕作　管絃樂東京ラヂオオーケストラ

▼後六、二五 英語講座　初等科(十五)岡倉由三郎

▼後七、三〇 講演　德富猪一郎

▼後八、三〇 雅樂　朝鮮京城李王職雅樂部演奏所より中繼

▼後八、五〇 新講談「伊藤博文公に就て」伊藤痴遊

▼後九、三〇 時報　全國ニュース　氣象賣報　番組豫告

明日の部

▼前九、一〇 料理献立　栗のきんとん　松本良雄

▼前一〇、三〇 家庭講座　家庭に於ける工業常識　津田信良

▼後〇、〇五 連續講談「次郎長外傳」大瀨半五郎　第二席　神田了山

▼後一、五〇 運動競技「六大學野球リーグ戰試合狀況」＝明治神宮外苑球場より中繼

▼後二、〇〇 家庭大學講座　倫理學(惡心)　東京帝大講師　大島正德

▼後六、〇〇「子供の時間」童話「佛の庄さん」清野學道

▼後六、二五 英語講座中等科(三ノ五)田部隆次

▼後七、三〇 能樂　品川區北品川梅若能樂堂より中繼「安達ヶ原」梅若万三郎外大勢

▼後八、三五 義太夫（菅原傳授手習鑑）淨瑠璃豊竹藤之助　三味線　豊澤力松

▼後九、〇〇 長唄「其面影二人椀久」杵屋勝五郎外大勢

▼後九、三一 滿洲より

勇士の遺骨平驛を通過

今回の滿洲事變に名譽の戰死を遂げた弘前第八師團歩兵廿七聯隊の足立上等兵の遺骨は明廿七日午後三時二十分の列車にて平驛を通過すると

り同地海岸において擧行されると

(三)が誇大な廣告に依つて詐欺を働いた事件の公判は本日午前九時より平區裁判所に於て關口判事係市川及び吉田書記立會の下に公判開廷事實取調べの上檢事より懲役八ヶ月求刑されたが言ひ渡しは明日午前九時であると

唱歌會出演目下準備中

平町各小學校にては來月十三日湯本小學校に於て郡下小學校唱歌會が開催されるので目下係訓導指導の下に練習中

平裁判たより

△石城郡平町字揺槌小路三十一番地菊地喜一方自動車運轉手鈴木二郎(二六)は無免許にて運轉し科料十圓△同郡江名町大字江名字北町九番地位藤庄吉(三二)は漁船德丸で坂本勝治を毆り傷害罪として罰金三十圓に本日各々平區裁判所に於て略式命令を以て處分された△石城郡大浦村大字上仁井田字夕圓百四十九番地無職髙木淳

平職業紹介所報告

回　人を求める方

△玩具製造工　四十五才　日給六七十錢　委細面談(平町某)

△女中　四十才以上　月八圓　委細面談(好間村某)

△齒科技工見習　十六才　高卒　月十圓(平町某)

△農夫　五十才以下　委細面談(豊間村某)

回　職を求める方

△事務員　二十五才　中學四修　給料面談(平町某)

△女中　十八才　尋卒　給料面談(好間村某)

△ミシン裁縫見習　二十三才　尋三修　給料面談(入遠野村某)

△自動車運轉手　十九才　高卒　給料面談（信夫郡某）

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

第百八十四席　平手造酒

大五郎投げらる

神樂獅子大五郎を見た一同の見物は傲慢な奴だ、人もなげなる振舞と殘念がり力自慢の者が二三人出て取組みましたが、忽ち投げられた之が爲今は俺が出ようと云ふ者もありません、此神樂獅子大五郎は元雷權大夫の弟子で身の丈六尺に餘る大兵、土俵に立つて

大『さア誰も出て取る者はねえか飯岡の身内神樂獅子が相手だ、誰彼の容赦はねえ、遠慮なく勝負をしろ』

と云ふと助五郎が鼻高々として、俺の子分にはこんな強い者がゐる、笹川の身内には相手になる者はなからうと云はぬばかり肩を怒らしてゐる、大五郎は聲を揚げ

大『さア笹川の身内には、もうちつと骨ツぽい奴は居ねえのか、居るなら誰でもよい、神樂獅子が相手をしてやる、それとも俺の力を恐れて出る事がならねえか』

と頻に怒鳴る、その時繁藏の一子分勢力富五郎が宿彌神社へ供物を上げて空いた三寶を持つて親分の所へ歸らうとする、その後姿を見た若い者が

○『ヤア勢力兄い、洵に氣の毒だが、是々斯う〳〵だから、一ツ取つてやつて神樂獅子の高い鼻をへし折つて貰ひてえもんだが……』

と云ふと富五郎が

富『それはいけねえ、大五郎は親分助五郎と一緒に義理を持つて遊びに來た客人だ、それに俺は帳場が忙しいからそんな事はしてゐられねえ、まア〳〵今日の所は飯岡に花を持たして置け』

と云ふを何うか笹川の恥になる故是非共取つてくれと多勢で手取り足取り相撲小屋へ勢力を引つ張り込んだ、勢力は何うしても否だと云つて小屋を出ようとしたが、その時大五郎が土俵の上で

大『ヤイ笹川の身内に米を喰つてゐる者はゐねえのか神樂獅子の力に恐れたか』

これを耳にした勢力、ムツとした、ウーム憎い奴だよくも親分の惡口をついたと止せばよいのに込み上げて來る怒りに

富『よしそんなにお前たちが云ふならば一番取つてやらう……』

と支度に及びやがて土俵に上ると

富『オヽ俺が相手をしてやる、笹川の身内にもちつとは米の飯を喰つてゐるものがある……』

大五郎がこれを見て厄介な奴が出たと思つた、さうでせう此の勢力も江戸の本場所で二段目の上まで取上げた者、しかも一力の弟子それゆえ大五郎が厭やな顏をするも無理はない、然し今までの高言で何うする事もならず

大『オヽ勢力か、好い敵手が出たと互に四肢を踏みながら行司の仕切りで手を下し睨み合つてゐたが呼吸合つてやつと取組む、見物は勢力賴むぞ確りやれ……と聲を立て小屋は破れ返るやうな騷ぎ、暫くの間二人は揉み合つてゐたが、遂々神樂獅子は勢力の爲に土俵の中央に投付けられ、四ツ這ひになつた、ワツと云つて大勢の見物は聲を揚げ着物を投げる羽織をなげる、イヤ大變な騷ぎ、勢力は勝つたからと云つて少しも誇つた顏もせずコソ〳〵と土俵を降り着物を着て親分繁藏の許に歸つて來たが此方は神樂獅子の大五郎眞赤になつて棧敷に歸る、助五郎は眼尻を上げて

助『ヤイ大五郎、何と云ふ態だ、見切りがねえから終には馬鹿を見る、それだから我は博奕を打つても負るんだ馬鹿め……』

と大そう怒り、こゝに長居をするも赤面と笹川繁藏の許へは子分をして、親分は氣分が惡いに就いて會はずに戻りますが惡く思つて下さるなと使ひを出し子分をつれてスゴ〳〵飯岡に歸る、此方は笹川の若い者勢力が神樂獅子を土俵に這したは好い心地だと喜んでゐた、偖この花會も首尾能く終り小見川の宿彌神社の修繕をすることになり毎日繁藏が出張りして工事を監督するする、と茲に又とんだ間違ひが出來ました。

金銀
高價買入致します！

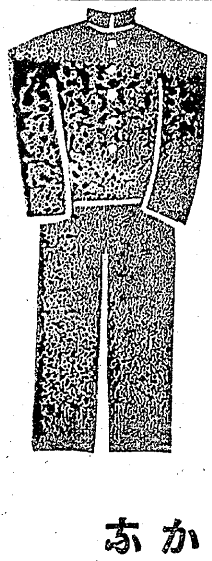
◎御修繕は
技術に絶對自信を持つ弊店へ
ダイヤ堂
鈴木時計店
平驛前通り

看護婦急派の求めに應じます
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

美酒の秋
戀の秋
味覺の秋
カフエー世界
デンワ146

毛糸の買時は今
十一月一日から一オンスに付
一錢値上げ
ハシモトヤは御高い相場に關係なく御勉めして參りましたが、毛糸は益々御高く來月一日から値上げの事になりました今月中は舊値段で御勉め致します、どうぞ御早く御求め下さい
平町田町
合名會社 ハシモトヤ糸店
電十四番

葬具と靈柩自動車御用達
▼新らしく安い
造花は
平町新川町
橋本屋
電話一六三番

學生服賣出

温かい丈夫な黒小倉
通學服を豐富に取揃へ
特價にて提供
小學用（長ズボン付）　¥0.80より
仝……特製品　¥2.00より
中學用特製品　¥2.90より
ふかや洋服店　平二
電203